

令和9年度 学生募集要項

—音楽学部—

[3年次編入学・転入学試験]

事前相談期間

令和8年10月1日（木）から12月11日（金）

※ただし、事前相談の申し込みは、11月30日（月）に締め切ります。

障がい等を有する者等の配慮の申請期限

令和8年12月11日（金）午後5時まで

出願期間

令和9年1月25日（月）～2月3日（水）

※2月3日（水）の郵送発信局消印有効

試験日程・集合時間

○音楽表現専攻

※今年度の募集はありません

○音楽文化専攻

令和9年2月27日（土）

○琉球芸能専攻

※今年度の募集はありません

合格者の発表

令和9年3月5日（金）午前10時 ※本学ウェブサイト掲載

合格者には合格通知書を郵送する

入学手続期間

令和9年3月8日（月）～3月15日（月）

※3月15日（月）の郵送発信局消印有効

令和8年6月



沖縄県立芸術大学

OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

電話 (098)882-5080

<https://www.okigei.ac.jp>

目 次

第1	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー	1
第2	募集人員・出願資格・選抜方法	
1	募集専攻及び募集人員	4
2	出願資格	4
3	選抜方法	4
第3	出願手続	
1	事前相談期間	4
2	出願期間	5
3	出願方法	5
4	出願書類および審査料	5
5	出願先	6
6	出願上の注意	6
7	障がいをもつ者等の配慮の申請	6
第4	試験期日	6
第5	受験上の注意	7
第6	不正行為	7
第7	合格者の発表	8
第8	入学手続	
1	入学手続期間	8
2	提出書類	8
3	納付金の納入	8
第9	その他	
1	個人情報の取扱い	8
2	入試成績の情報提供について	9
■	学生生活	10

第1 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立大学アドミッションポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力量を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

2 本学の求める人物像

- ・本学の教育の理念をよく理解し、学習に必要な基礎的知識・技能を備えている人
- ・芸術に強い関心があり、自ら課題を発見し解決するための思考力や判断力、表現力を備えている人
- ・多様な芸術文化に興味を持ち、主体的に人々と協働し、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人

3 入学者選抜区分

- ・本学では一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜及び社会人選抜を実施します。

4 入学者選抜試験の基本方針と実施

- ・一般選抜においては、大学及び各学部のアドミッション・ポリシーに基づき、大学入学共通テストの成績を利用した選抜試験と教科・科目に係る個別テスト等（以下「個別テスト等」という。）（実技検査、小論文、口述試験、面接等）を実施します。なお、大学入学共通テストについて、国語、外国語及びその他任意の1科目の合計3科目を試験科目として課します。
 - ・学校推薦型選抜においては、実技検査、小論文、面接等を実施します。
 - ・総合型選抜においては、実技検査、小論文、プレゼンテーション、面接等を実施します。
 - ・音楽学部の社会人選抜においては、個別テスト等（専攻試験、小論文等）を実施します。
- いずれの試験においても、本学での学習に必要な「学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等）」を測り評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、4年間を通して全学教育科目を選択履修し、全学年にわたり専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本に授業科目を編成します。

その上で、さまざまな技術や学問を幅広く主体的に学べるよう配慮し、学生の多様な個性を尊重しつつ、自ら感性を磨き、社会との関係を考え発信していく能力を高める教育を行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学では、大学及び各学部の教育理念に沿った専門教育と教養教育において成果をあげ、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出あるいは卒業演奏を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。
- 2 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。
- 3 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
- 4 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探究し、解決する能力を身につけている。

音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄の地で育まれた個性の美である伝統芸能はもとより、西洋・東洋にわたる芸術音楽を体系的に研究教授し、将来、実演家、教育者、研究者をはじめとして、音楽芸術分野において社会に貢献できる人材の養成をめざします。

豊かな表現力と高い技術力、そして理論的思考力を涵養し、それらを総合して現代社会に新たな価値をもたらすことのできる人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄で育まれた個性ある音楽・芸能及び普遍的価値を持つ音楽芸術の体系的な研究を通じ、それらの継承発展とともに新たな芸術創造に寄与できる人材育成を目指します。そのために、専門分野における知識・技能を深めるとともに、広い視野を持って思考し、問題解決を行うために必要な教養を身につける教育を行います。

【求める人物像】

音楽学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力（思考力・判断力・表現力等）、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

- 1 本学及び音楽学部のポリシーを十分理解し、大学での学習に自律的に取り組むことのできる人
- 2 音楽学部における学習に必要な基礎的知識・技能及び課題解決のための思考力・判断力・表現力を備えている人
- 3 自身の知識・技能をさらに伸ばし、将来、演奏家、作曲家、実演家、研究者又は教育者など、音楽・芸能分野における専門家となる意欲のある人
- 4 芸術創造の営みについて、現代社会との関わりの中で思考し、主体性を持って多様な人々と協働する意欲のある人
- 5 音楽や舞踊、沖縄における芸術文化や本学での学びに関心がある人

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

音楽学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。その際、大学入学前に学んでおくべき内容・水準について、募集要項と併せて公表する『試験曲』によって明示するものとします。また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、学力の3要素（「基礎的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性・多様性・協働性」）を総合的に評価します。

なお、入試区分及び募集枠ごとに、総合点に基づき合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

- 1 一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語（英語はリスニングテストを含む。）及び任意の1科目の合計3科目を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力等を測り評価します。また、個別テスト等において、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査及び面接を課し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。本区分においては、全般的な学習能力について総合的に評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。

- 2 学校推薦型選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査及び面接を課し、大学での学習に必要な知識、技能及び主体性等を測り評価します。本区分においては、専門分野における高い能力、調査書及び志願者本人の記載する書類等をもとに実施する面接等における評価を重視します。また、高等学校長からの推薦書を活用します。
- 3 総合型選抜では、専攻別に設定する専攻試験、プレゼンテーション及び書類審査・面接を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を測るとともに、本人の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価・判定します。また、多面的、総合的な評価を行うため、面接等において、調査書及び志願者本人が記載する書類等を活用します。
- 4 社会人選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力及び主体性などを測り評価します。本区分では、専攻実技の習熟度及び小論文・口述試験の内容を重視し評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、大学カリキュラム・ポリシーを基本に、以下のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 学生の多様な資質・能力を伸長するための少人数による教育
- 2 専門教育（主要科目）における、4年間にわたる段階的履修
- 3 各専門分野における基本的知識・技能を培うための、必修科目を中心とした体系的・横断的な科目編成
- 4 自然や地域、言語、芸術諸分野及び一般教養など幅広い教養を通して、汎用的基礎能力を身に付けるための全学教育科目の編成
- 5 学生の多様な関心や課題発見を促し自律的に学習できる選択科目の提供
- 6 様々な学びを統合し、地域・社会との連携を通して、芸術（音楽・芸能）と社会との関係を学ぶ科目の提供

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で授業科目の到達目標の達成度を基準に、演奏・演舞・作品・実践・レポート・筆記試験等により行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下に掲げる学修成果を修め、最終学年における卒業演奏又は卒業作品、卒業論文、卒業研究の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 音楽・伝統芸能の各分野における基礎的知識、技能について体系的に理解している。
- 2 音楽・伝統芸能の各分野における基礎的知識、技能について歴史、文化、社会、自然と関連付けて理解できている。
- 3 課題解決に必要な汎用的能力（論理的思考力、情報リテラシー、コミュニケーション・スキル等）を身につけている。
- 4 各分野の専門的な知識・技能と研究能力を身につけている。
- 5 卒業後も社会における自己の役割を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
- 6 獲得した知識や能力等を活用し、自らの課題を発見し解決する能力を身につけている。

第2 募集人員・出願資格・選抜方法

1 募集専攻及び募集人員

学科	専攻	募集人員
音楽学科	音楽表現専攻	-
	音楽文化専攻	若干名
	琉球芸能専攻	-

※今年度は音楽表現専攻、琉球芸能専攻の募集はありません。

2 出願資格

次の(1)から(4)のいずれかを満たす者(沖縄県立芸術大学編入学及び転入学規程(沖芸大規程第129号))

なお、外国人志願者は(5)及び(6)を満たすこと。

- (1) 大学において音楽を専門とする学科等を卒業した者(卒業見込者を含む)、または大学在学者及び中退者は大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者
- (2) 短期大学において、音楽を専門とする学科等を卒業した者(卒業見込み者を含む)
- (3) 文部科学大臣の定めるところにより、大学への編入学資格を認められた専修学校の専門課程(修学年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)の音楽学科またはそれに準ずる課程を修了した者
- (4) 外国において学校教育における14年以上の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を修了した者
- (5) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(留学等)を有する者
- (6) 修学に必要な日本語の能力を有する者(日本語能力試験で日本語教育の参照枠(CEFRレベル)のB2(N2の112点)以上)

※上記の出願資格で編入学・転入学試験に合格した者でも、入学後2年以上の修学期間を要することがあります。ただし、在学期間は3年を超えることはできません。

3 選抜方法

- ①出願時の提出書類、教科・科目に係る個別テスト等(以下「個別テスト等」という。)(専攻別専門試験)、面接(人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質、さらに表現力をみるため)を総合的に判断して、合格者を決定する。
- ②専攻別専門試験内容

音楽文化専攻・・・小論文、口述試験

第3 出願手続

1 事前相談期間

令和8年10月1日(木)から12月11日(金)

※ただし、事前相談の申し込みは、11月30日(月)に締め切ります。

<事前相談について>

出願の前に、事前相談を期間内(令和8年10月1日(木)から12月11日(金)までのなるべく早い時期)に必ず受けてください。まず、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課(098-882-5080)に電話をかけて、「編入学等出願事前相談」と告げて、指示に従ってください。

事前相談は、出願者が来校して対面またはオンラインでの実施が可能です。

事前相談では、次の書類またはそのデータの提出が求められます。

- (1) 編入学等事前相談申込書（様式1）
- (2) 既に修得した授業科目と単位数等が記載された成績表（写しでも可）
- (3) その他、求められるもの

事前相談では、既修得（もしくは見込）科目と単位数を確認します。提出された書類またはそのデータをもとに、編入学等を許可されたときに本学において修得したものとみなす科目と単位数（上限は72単位まで）の見込みを算出し、編入学等後の履修計画案を作成します。これらは、後日出願希望者に提示します。

2 出願期間

令和9年1月25日（月）から2月3日（水）

3 出願方法

郵送（オンライン出願は実施しない）

※令和9年2月3日（水）発信局消印有効

4 出願書類および考査料

出願書類

出願に際しては、以下の書類を一括して、書留速達で郵送のこと
所定の書類（様式またはそのデータ）は、本学より取り寄せること

出願書類等	摘要
①編入学・転入学願書	本学所定の様式
②受験票・写真票	不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している、本人確認が困難等の写真は使用できない
③履歴書・志願理由書	本学所定の様式
④卒業（見込）証明書等	卒業（見込）証明書、在学証明書、退学証明書のうちいずれか1通
⑤成績証明書	※出身大学の長が作成したもの 出願時に在学中の者は、単位習得見込み証明書
⑥受験票返送封筒	長形3号サイズの封筒、書留速達分の切手を貼って提出すること
⑦編入学・転入学考査料	17,000円 ※郵便局が発行する普通為替証書に限る ※普通為替証書の指定受取人欄・払渡局欄等は一切記入しないこと
⑧領収書・領収書の原符	本学所定の用紙の納入義務者欄に住所・氏名を記入すること
⑨住民票抄本等	県内に住所を有する該当者のみ ※入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が入学の日（4月1日）の1年以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること
⑩旅券・在留カードの写し	外国人は、旅券の写し及び在留カード表裏両面の写しを提出すること

<p>⑪ 日本語能力を示す証明書 ※外国人のうち、在留資格が「留学」の者のみ</p>	<p>外国人のうち、在留資格が「留学」の者は、日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）以上に合格していると証明できる成績証明書（原本）を提出すること。</p>
<p>⑫ 学費・生活費の負担能力を証明する書類 ※外国人のうち、在留資格が「留学」の者のみ</p>	<p>外国人のうち、在留資格が「留学」の者は、1年以内の直近の状況がわかる書類を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本人が支弁する場合 銀行の残高証明書、奨学金受給証明書などの原本 ・ 海外（本人の親族等）からの送金により支弁する場合 経費支弁者の銀行預金残高証明、経費支弁者の年間給与証明書、経費支弁者の銀行預金証書などの原本 ・ 本人以外の日本国内居住者が支弁する場合 経費支弁者の在職証明書・所得証明書（納税証明書もしくは源泉徴収票）、経費支弁者の銀行預金残高証明などの原本

5 出願先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080（直通）

6 出願上の注意

- ア 出願後は、志願学科・専攻の変更を認めない。
- イ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- ウ 入学願書等の記入事項に虚偽の記載がある場合には、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- エ 提出された出願書類は、理由の如何に関わらず返還しない。

7 障がい等を有する者等の配慮の申請

本学に入学を志願する者で障がいのある者等が、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願の前に以下のとおり本学に申請すること。

- ア 申請期限 令和8年12月11日（金）
- イ 相談の方法 本学指定の様式による「受験上の配慮申請書」（医師の診断書等を添付）を郵送により提出することとし、必要に応じて面談等を行う。
※様式は、本学ウェブサイト「入試案内」に掲載

(<https://www.okigei.ac.jp/examination/ex-index.html#accessibility>)

- ウ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
電話番号 (098) 882-5080

- エ その他 本学がこれまでに実施した入学試験における配慮事項については、上記の本学ウェブサイトにおいて公表する。

第4 試験期日

令和9年2月27日（土）
試験日程については、出願後に通知する。

第5 受験上の注意

- (1) 試験当日は、「受験票」を必ず携帯すること。
- (2) 試験に関する諸事項（日程、科目、集合時刻等）の連絡は、管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で掲示及び本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）に掲載する。

この募集要項に示した試験日程は、出願者の状況によって若干の変更をすることがあるので、必ず受験者自身で試験前日に確認すること。また、専攻別専門試験で実技試験を課された受験者は、演奏順を確認すること。
- (3) 受験者は、指定時刻に試験場内の指定の場所に集合すること。なお、試験当日は、交通の状況等も考慮して、余裕をもって試験場に向かうこと。
- (4) 集合時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに試験場本部に申し出ること。
- (5) 指定の練習室以外の場所（集合場所、控室、廊下等）で発声又は楽器の練習を禁止する。
- (6) 実技試験で使用する楽器のうち、ピアノ、マリンバ以外は各自持参すること。ただし、コントラバス、箏は本学で準備したものを使用できる。
- (7) 実技試験では、時間の都合により、演奏の一部省略又は中断を求めることがある。
- (8) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
 - ア 受験者の実技試験中における演奏順は、監督者の指示による。
 - イ 筆記試験の際は、机上には指定された用具のみを置くこと。それ以外の物は監督者の指示した場所に置くこと。
 - ウ 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。
- (9) 試験内容に関する質問には、一切答えない。
- (10) 試験当日は、構内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止する。
- (11) 携帯電話等の通信・記録機器は、試験場に入る前に電源を切ること。
- (12) 試験が午後にわたるときは、昼食を持参することが望ましい。
- (13) 試験期間中は、受験者及び特別に許可を受けた者以外の構内への立ち入りを禁止する。
- (14) 忘れ物等については、1週間以内に申し出ること。
- (15) 本学では、宿泊施設等の紹介はしないので、受験者各自で確保すること。

第6 不正行為

- 1 提出論文等及び試験中に以下の不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

不正行為

- ・提出論文、作品等の全部又は一部を入学志願者本人以外の者に作成させた場合
- ・提出論文、作品等において、生成A I の出力結果が使用されていると判断された場合
- ・入学志願者本人以外の者（生成A I の利用を含む）による試験解答への関与
- ・監督者の指示に従わない場合
- ・本項記載事項の他、入学試験に関し各種要項で禁止されている事項に反した場合
- ・試験に関する内容についてオンライン等を含め、第三者が閲覧、視聴できるような状態にした場合
- ・その他、円滑な試験実施を阻害するとみなされる一切の行為

2 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、1と同様とする。

- ・許可された時間や場所以外で、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類やイヤホン、ヘッドセットをかばんなどにしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ・オンライン（リアルタイム）型試験において、関係のないパソコン、スマートフォン、タブレット等の操作をすること。

第7 合格者の発表

令和9年3月5日（金） 午前10時

合格者の受験番号は本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）に掲載する。

また、合格者には発表と同時に合格通知書及び入学者心得（入学手続き書類）を郵送する。

第8 入学手続き

1 入学手続き期間

令和9年3月8日（月）～3月15日（月）

※土曜・日曜を除く午前9時から午後5時までに郵送または窓口で直接本人持参郵送の場合は、3月15日（月）午後5時までに必着

2 提出書類

誓約書、保証書、入学料領収書の写し（A4サイズでコピー）又は入学料減免申請手続きに係る申出書（本学指定様式）、その他

3 納付金の納入

入 学 料：県内居住者 282,000 円、その他の者 512,000 円

納入期限：入学料は本学指定の納入通知書により入学手続き時までに納入すること。

授 業 料：年額 535,800 円（前期分 267,900 円、後期分 267,900 円）

第9 その他

1 個人情報の取扱い

（1）個人情報の利用目的について

出願及び入学手続きにあたって記入された氏名、住所その他個人情報は、以下の事項に付随する事務処理を行うために利用する。

- ①入学試験の実施
- ②合否通知、入学手続き書類の送付
- ③入試成績の情報提供
- ④学生の福利厚生に資する情報の提供
- ⑤学業および学生生活に関する管理、連絡および手続き
- ⑥大学の施設・設備の仕様に関する管理、連絡および手続き
- ⑦本人および保証人への連絡、送付する各種書類の発送
- ⑧個人を特定しない統計処理

なお、不要となった情報の確実な破棄をはじめとし、提出された個人情報は個人情報保護法に則った万全の体制で管理する。

また、進路指導上、教育上の必要に応じて、受験者の入試結果および成績概要、在学中の履修状況や進路状況等を学校にお知らせすることがある。その際は本学と出身学校において守秘を前提とした万全の措置のもとに行う。

(2) 個人情報の第三者提供について

本学が取得した個人情報等は、以下のいずれかに該当する場合を除き、第三者へ提供、取扱いを委託することはない。

①利用者の事前の承諾を得た場合

②業務委託業者に対して、利用者に明示した利用目的の達成のために必要な範囲で個人情報等の取扱いを委託する場合

③法令の定めにより提供を求められた場合

(3) 情報主体の権利尊重について

本学は、個人情報等に関する情報主体の権利を尊重し、情報主体から自己情報の開示、訂正もしくは削除、又は利用もしくは提供の拒否を求められたときは、社会通念や慣行に照らし妥当な範囲でこれに応じる。

2 入試成績の情報提供について

個人情報の保護に関する法律に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の情報提供依頼を行うことができる。詳細は、「令和9年度入学者選抜要項」を参照すること。

■ 学生生活 ■

1 入学料及び授業料

- (1) 入学料 県内居住者 282,000円
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- (2) 授業料 年額 535,800円（内訳 前期分267,900円、後期分267,900円）
納入期限 前期授業料は各年度の4月30日まで、後期授業料は各年度の10月31日までに納入すること。ただし、納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。

- (3) 入学料及び授業料の減免
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に問い合わせること。

2 授業料以外に必要な経費

- (1) 音楽事業演習費（音楽文化専攻沖縄文化コース）
音楽文化専攻沖縄文化コースでは、3年次に行われる必修科目の経費として、県外施設等で研修する場合は、実施年次に80,000円～120,000円程度が必要となる。

3 奨学金制度

本学の学生で、人物、学力ともに優れ、かつ、経済的理由により修学が困難と認められる者には、次の奨学金制度がある。詳細は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に問い合わせること。

- (1) 日本学生支援機構奨学金（貸与・給付）
(2) （公財）沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金（貸与）（沖縄県出身者のみ）
(3) （公財）沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金（給付）
(4) その他（地方公共団体、財団法人、その他奨学金制度の適用）

4 学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険及び学研災付帯学生生活総合保険への加入

学生教育研究災害傷害保険（以下「学研災」という。）は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、②学校行事中、③①②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

また、学研災付帯賠償責任保険（以下「付帯賠」という。）は、国内において、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続等は引受保険会社と直接行うこととなる。（加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。）

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金（保険料）と保険期間

	掛金（保険料）合計金額 （3年間分）	保険期間
学生教育研究災害傷害保険 学研災付帯賠償責任保険	3,620円	3年

（注）この保険に関する照会は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に行うこと。

5 教員免許状

教育職員免許法に定められた所定の単位を修得すれば、中学校教諭1種免許状（音楽）と高等学校教諭1種免許状（音楽）を取得することができる。

ただし、こども性暴力防止法に基づく特定性犯罪前科の事実確認において犯罪前科が認められた場合、教育実習を実施することができず、教員免許を取得することができない。

6 その他

本学には、学生寮施設がないので、学生はすべて自宅通学又は借家による通学となる。入学後の授業等で使用するため、入学までにパソコン（又はタブレット等）及びインターネットに接続できる通信環境を整えておくことが望ましい。推奨される仕様については入学手続き時以降に周知する。

令和9年度 沖縄県立芸術大学
音楽学部3年次編入学・転入学願書

※受験番号		○記入は、すべてペン又はボールペン(黒又は青)を使用し、楷書で丁寧に記入すること。 ○表面の太枠線内は記入しないこと。
ふりがな		
氏名		
生年月日	昭和・平成 年 月 日生	
志望専攻 コース等	音楽学部 音楽学科 音楽文化専攻 _____ コース	
出願資格	出身大学・短期大学 ・専門学校名 _____ _____ 学部 _____ 学科 (コース等) 昭和・平成・令和 年 月卒業・卒業見込、()年次在学、退学	
現住所	〒 _____ 電話() _____ E-mail _____	
合格通知書 送付先	〒 _____ 電話() _____	

(切り離さないこと)

令和9年度 沖縄県立芸術大学
音楽学部編入学・転入学受験票

受験番号	
氏名	
志望専攻	音楽文化専攻 _____ コース
<p>写真</p> <p>出願前3ヵ月以内に撮影した写真を貼付(上半身・無帽・正面向)</p> <p>縦4cm 横3cm</p>	
<p>試験当日は、本受験票を必ず携帯すること。 試験中は、指定された位置に置くこと。</p>	

(切り離さないこと)

令和9年度 沖縄県立芸術大学
音楽学部編入学・転入学受験票

受験番号	
氏名	
志望専攻	音楽文化専攻 _____ コース
<p>写真</p> <p>出願前3ヵ月以内に撮影した写真を貼付(上半身・無帽・正面向)</p> <p>縦4cm 横3cm</p>	
※	出欠確認

※受験番号

令和 年 月 日

志 願 理 由 書

(必ず本人が記入すること。)

1 入学志願者氏名

2 志願理由

(進学の目的、将来の計画、自分の長所や特技等について自薦書となるよう詳細に記入すること)

裏へ続く



出願書類等一覧表【編入学】

次の書類を順序どおりにクリップでとめ、封筒に入れること。

順序	出願書類
1	願書（写真を貼付）
2	履歴書
3	志望理由書
4	卒業（見込）証明書、在学証明書、退学証明書（いずれか1通）
5	成績証明書（在学中の者は単位取得見込証明書）
6	受験票返送用封筒
7	編入学・転入学考査料（郵便局の発行する普通為替証書）
8	領収書・領収書原符（納入者欄に氏名を記入したもの）
9	<県内に住所を有する該当者のみ> 住民票抄本等
10	<外国人志願者のみ> 旅券の写し、在留カード表裏両面の写し
11	<外国人のみ> 日本語能力を示す証明書 ※日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFR レベル）の B2（N2 の 112 点）以上に合格していると証明できる日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書
12	<外国人のうち、在留資格が「留学」の者のみ> 学費・生活費の負担能力を示す書類

アクセスマップ

沖縄県立芸術大学の位置 Location of the Okinawa Prefectural University of Arts

